

資料3-11

樋口 美雄氏 提出資料

(慶應義塾大学商学部教授)

平成26年9月19日(金)

まち・ひと・しごと創生会議

「地域の経済・雇用創出策の重要性」

慶應義塾大学 樋口美雄

1. 経済の構造変化と地域経済・雇用

① 産業構造の転換

第1次産業→第2次産業→第3次産業

生産と消費の同時性（地理的・時間的に分離困難）＝集積のメリット

② グローバル化の進展

輸出入（モノの移動）→生産者・大規模生産工場の海外移転

③ 政府依存雇用（公務員直接雇用・公共事業・社会保障給付）の限界

財政支出の抑制

↓

地方の雇用創出に不利に

外部依存型経済の限界

地域特性を活かした内発的雇用創出が重要性を増す

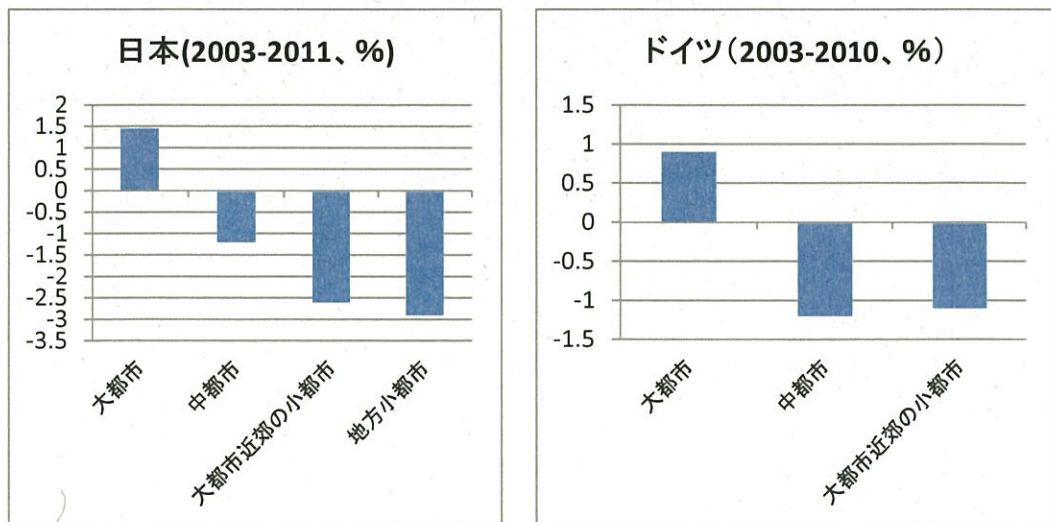
2. 各国の地域間人口移動

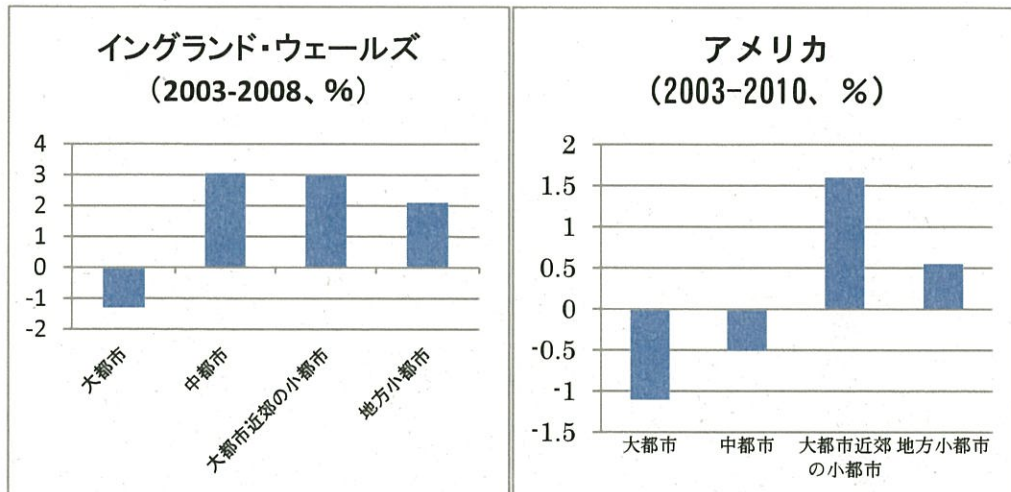
「地方小都市→大都市」は運命論に非ず

国によって異なる人口の流れ

地域の経済再生・雇用創出対策

図1 日・独・英・米の地域間人口移動（％）





出所：OECD LEED (Local Economic and Employment Development) 調べ 2014

3. 地域の経済再生・雇用創出策の重要性

① 地域資源（人的資源・技術資源・自然資源）をフルに活用した需要創出策

② 国主導のトップダウン方式の画一的押し付け型の施策

→地域がイニシアティブを持ったボトムアップ型の施策

③ 地域プラットフォームの創設

④ リーダー人材の確保が最重要課題に

・民間や外部人材の登用も

・国から地域への人材の転籍によるリーダーの確保も

⑤ 戦略は地域によって異なっても、経験する苦勞や成功・失敗の事例には共通する部分も多い→地域間連携・国との情報交換の場の設定

⑥ 戦略の検証が不可欠＝持続可能性に追求